

ささいな恐怖

血まみれスポーツ（実話）



GIMA

1. 高飛び込み競技

以下、オリンピック中継で見たのか、番組改編期によくやる「衝撃映像」で見たのか、今となっては定かではないが、私自身がTVで見たことである。

1. 高飛び込み競技

高飛び込み競技の飛び込み台には、高さの異なる踏切板が3段ある。

高飛び込みにおいては、バネのような飛び込み板はない。

3段いずれも、堅い台である。

もっとも高い踏切板に立ち、選手が飛び上がった。

選手は飛び上がると同時に後ろ向きに回転し、膝をかかえて身体を丸めた。

激しく回転しながら落下し、踏み切った1段目の板を越えたところで身体を伸ばして、飛び込みの体勢に移った。

身体が伸びてほぼまっすぐになったとき、2段目の踏切板に選手の後頭部が激突した。落下のGと回転による遠心力。その2つが後頭部にもろに集中したのだ。

ひとたまりもなかった。

選手はそのままプールに叩きつけられるように水没し、大量の出血でプールの水が真っ赤に染まった。

選手は即死であった。

2. スキー大回転

2. スキー大回転

スイス／ウエンゲン。この町で、毎年1月に「ラウバーホルン大会」というスキー競技会が催される。

1991年の61回大会において、その悲劇は起こった。

1月18日。

クオリフィケーション・ダウンヒル——滑降予選レース——にゼッケン44番で出場したゲルノ・ラインシュタドラー選手(20歳)は、コース最終ゲート近くのジャンプでバランスを崩し、転倒した。

ラインシュタドラー選手はそのまま安全ネットに激突。

片方のスキー板がネットに引っかかり、高速滑走の高いGのため、股が大きく裂けた。

その様子を写していた記録用カメラはコースの反対側、激突したネットの向かい側にあったため、事故の詳細はTVには出なかった。

ただ、ラインシュタドラー選手の周りの雪が、明らかに真っ赤に染まっていた。(今にして思えば、さすがに近くからの映像は流せなかったのか)

ラインシュタドラー選手はただちにヘリコプターで近くの病院へ搬送されたが、骨盤破損／内臓損傷など腰部中心の重傷及び多量の出血により、19日未明に死亡した。